

# 星空ガイド 6月16日～7月15日

## よいの星空

6月16日22時頃  
7月 1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

6月16日 4時頃  
7月 1日 3時頃  
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	4:44	19:13	1:38	14:24	24.4
	21	4:45	19:14	4:29	19:16	29.4
	26	4:46	19:15	9:32	23:10	4.8
7	1	4:48	19:15	15:09	1:25	9.8
	6	4:50	19:14	20:21	5:26	14.8
	11	4:53	19:13	23:13	10:24	19.8
	15	4:56	19:11	0:34	14:06	23.8

※惑星は2020年7月1日の位置です。

**日食 ラストチャンス！(6月21日)**

6月21日日曜の夕方には、日食があります。終わるのが18時すぎですが、年間で一番日がながい夏至ですので、日の入りまで1時間以上あり、全ての経過を観察できます。大阪では、右の図のような感じで最大食分0.54と半分以上欠け、見ごたえがあります。南ほど大きく欠け、台湾の中部などでは金環日食になります。



実は、この日食はラストチャンスです。というのは2020年代に大阪で見られるのはこの日食だけで、次は2030年6月1日まで10年間もないのです。本当に見逃すな！ という日食ですね。

この日食、科学館でも天体観望会を予定していますが、感染症の関係で開催が危ぶまれます。そこで、家から観察するための情報をあわせ別ページでご紹介します。

**※ダメ絶対！ 太陽を直視する時は、正規品の日食メガネなどを使ってください。サングラスや黒い下敷きなどで見ると目を痛み、望遠鏡で見ると失明します！**

**7月は夜中の木星、明け方の金星が目立つ**

ついこの間まで夕方の空にあった金星が、明けの明星として輝いています。また、木星は8時くらいには東の空に昇っており、深夜に南中する衝をむかえます。木星の近くには土星もあり、夜中から明け方にかけて、大変賑やかな感じになります。なお冥王星も衝ですが、明るさは13等級で観察には専門知識と道具が必要です。

**6月22日は、難易度高いが・・・水星を見つけるチャンス**

月の左下に水星です。西北西の低空で。難易度は高。19時30分すぎ双眼鏡で。

**[こよみと天文現象]**

月	日	曜	主な天文現象など
6	19	金	明空に月と金星がならぶ イギリスなどで金星食
	21	日	●新月(16時) 夏至 部分日食(16時6分～18時8分 ：台湾で金環日食)
	22	月	夕方の低空に月と水星がならぶ
	28	日	●上弦(17時)

月	日	曜	主な天文現象など
7	1	水	半夏生 水星が内合
	4	土	地球が遠日点通過
5	日	○満月(14時)	
6	月	小暑	
10	金	金星が最大光度(-4.5等)	
13	月	●下弦(8時) 月が最遠(404700km)	
14	火	木星が衝	
15	水	冥王星が衝	

**渡部 義弥(科学館学芸員)**